



令和4年1月31日
海上保安庁

海賊対策のため航空機を派遣しました

～世界共通の脅威への対処～

海上保安庁は、東南アジア海域における海賊対策のため、令和4年1月28日、当庁航空機を同海域に派遣し、公海上でのしゅう戒を実施しました。派遣中は、同じく海賊対策のために派遣中の巡視船えちごと連携した公海上のしゅう戒を実施すると共に、ベトナム海難救助調整センター（MRCC）との通信確認を実施し、インド太平洋海域の法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化に貢献して参りました。

海上保安庁では、東南アジア周辺海域における海賊対策の一環として、公海上での巡視警戒、情報収集、事案発生時に備えた国際飛行慣熟のほか、派遣国関係機関との連携・協力関係の強化のため、平成13年から同海域に航空機を派遣しております。

なお、新型コロナウイルスの影響により、ベトナム（タンソンニャット空港）では補給のみを実施し、入国していません。

【派遣航空機】

第十一管区海上保安本部那覇航空基地所属

ファルコン2000「ちゅらたか」

全長 20.23メートル

全高 7.18メートル

全幅 21.38メートル

航空機派遣時の状況（令和4年1月28日）



那覇空港離陸時の状況



ベトナムにて給油中のファルコン2000